

対象校No. 660

注4

学校コード F117310105488

注3

設置年度

令和

3年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

注2

北陸大学

国際コミュニケーション学部

心理社会学科

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

学校法人北陸大学
令和6年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名

企画部

職名・氏名

ジチュウ フクムサスタカ
次長・福村靖貴

電話番号

076-229-1161 (内線: 5697)

(夜間)

076-229-1161 (代表)

e-mail

kikaku@hokuriku-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称: ◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合: 「〇〇大学」
- 学部の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合: 「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合: 「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

国際コミュニケーション学部

＜心理社会学科＞

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	15
4. 既設大学等の状況	16
5. 教員組織の状況	18
6. 附帯事項等に対する履行状況等	28
7. その他全般的事項	29

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人北陸大学

(2) 大 学 名 北陸大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒920-1180
石川県金沢市太陽が丘 1 丁目 1 番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(オグラ ツトム) 小倉 勤 (平成25年 1 月)		
学 長	(オグラ ツトム) 小倉 勤 (平成25年 1 月)	(コチ ヤスオ) 東風 安生 (令和 6 年 4 月)	任期満了により変更 (6)
学 部 長	(ヒモリ リュウイチ) 桧森 隆一 (平成29年 4 月)	(ハヤシ ヨウイチ) 林 洋一 (令和 5 年 4 月)	任期満了により変更 (5)
学科長等	(ハヤシ ヨウイチ) 林 洋一 (令和 3 年 4 月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和 5 年度に報告済の内容 → (5)

令和 6 年度に報告する内容 → (6)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 ・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和6年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
国際コミュニケーション学部 心理社会学科 学士(心理学)	文学関係	4年	45人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	180人	—	入学定員45→60人(令和5年4月)(5)

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「—」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の 学期区分について	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	45人 () []	人 () []	45人 () []	人 () []	60人 () []	人 () []	60人 () []	人 () []	—	0.88倍	—倍	
志願者数	— () []	— () []	— () []	— () []	215 () []	— () []	186 () []	— () []	146 () []	— () []	91 () []	— () []	—	0.88倍	—倍	
受験者数	— () []	— () []	— () []	— () []	211 () []	— () []	183 () []	— () []	144 () []	— () []	89 () []	— () []	—	0.88倍	—倍	
合格者数	— () []	— () []	— () []	— () []	136 () []	— () []	157 () []	— () []	127 () []	— () []	84 () []	— () []	—	0.88倍	—倍	
B 入学者数	— () []	— () []	— () []	— () []	46 () []	— () []	58 () []	— () []	52 () []	— () []	40 () []	— () []	—	0.88倍	—倍	
入学定員超過率 B/A	—	—	—	—	1.02	—	1.28	—	0.86	—	0.66	—	—	0.88倍	—倍	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「—」を記入してください。
 ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。
 なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。
 (春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「—」を選択。)
 ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。
 ・ 「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	46 [－] (－)	－ [－] (－)	57 [－] (－)	－ [－] (－)	51 [－] (－)	－ [－] (－)	42 [－] (－)	－ [－] (－)	令和6年度の「1年次生」については、令和5年度に休学者1人及び他学部からの転学部者1人を含む。
2 年次			－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	45 [－] (－)	－ [－] (－)	58 [－] (1)	－ [－] (－)	50 [－] (1)	－ [－] (－)	
3 年次					－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	42 [－] (－)	－ [－] (－)	52 [－] (－)	－ [－] (－)	
4 年次							－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	42 [－] (－)	－ [－] (－)	
計			－ [－] (－)	－ [－] (－)			46 [－] (－)	102 [－] (－)	151 [－] (1)	186 [－] (－)			

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	46 人	0 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
令和4年度	104 人	2 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	1 人	0 人	学生個人の心身に関する事情(1人)
			令和4年度	1 人	0 人	進路変更(1人)
令和5年度	154 人	6 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	3 人	0 人	就学意欲の低下(2人)、 学生個人の心身に関する事情(1人)
			令和4年度	1 人	0 人	学生個人の心身に関する事情(1人)
			令和5年度	2 人	0 人	就学意欲の低下(1人)、 学生個人の心身に関する事情(1人)
令和6年度	189 人	3 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
			令和4年度	3 人	0 人	就学意欲の低下(2人)、 学生個人の心身に関する事情(1人)
			令和5年度	0 人	0 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
合 計		11 人		11 人	0 人	

- (注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{46} = \boxed{0} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{104} = \boxed{1.92} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{6}{154} = \boxed{3.89} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{3}{189} = \boxed{1.58} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

＜国際コミュニケーション学部 心理社会学科＞

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合 教育 科目	教養科目	北陸大学の学び	1前	1									2
		自然科学概論	1後		2								1
		哲学	1前		2								1
		社会学	1前		2						1		
		芸術学	1後		2								1
		経済学	2前		2								1
		ジェンダー論	2前		2								1
		日本史	1前		2								1
		日本国憲法	2前		2								1
		スポーツⅠ	1前		1								1
		スポーツⅡ	1後		1								1
		スポーツ科学	2前		2								1
		情報処理入門	1前	1				1			1		
		情報処理応用	1後		1				1		1		
	外国語科目	English CommunicationⅠ	1前	1									2
		English CommunicationⅡ	1後	1									2
		総合英語Ⅰ	2前		2								1
		総合英語Ⅱ	2後		2								1
		総合英語Ⅲ	3前		2								1
		総合英語Ⅳ	3後		2								1
	キャリア科目	中国語会話	2前		1								1
		PBL入門	1後		2				1	1			1
		現代社会と職業	2後		2								1
		コミュニケーション技法Ⅰ	2前		2				1				1
		コミュニケーション技法Ⅱ	3後		2			1					2
		体験学習Ⅰ	1後		1								1
		体験学習Ⅱ	2前		1								1
		職業理解とインターンシップ	3前		2								2
	海外インターンシップ	2前		1								1	
小計(29科目)		-	4	43	0	0	2	1	1	0	18		
専門 教育 科目	共通領域	心理学概論Ⅰ	1前	2				1					
		心理学概論Ⅱ	1後	2			2						
		心理学統計法	1後		2		1						
		心理学研究法	1後		2				1				
		心理学実験Ⅰ	2前		2		1	1	1	1			
		心理学実験Ⅱ	2後		2		1	1	1	1			
		心理社会データ解析	3前		2				1				
		心理調査概論	2前		2		1						
		心理学英文講読	3後		2			1					
		心理学特殊講義Ⅰ	3後		2		1						
		心理学特殊講義Ⅱ	4前		2								
		心理学基礎演習Ⅰ	1前	2		3	2	1	1				
		心理学基礎演習Ⅱ	1後	2		3	2	1	1				
		心理学ゼミナールⅠ	2前	2		3	2	1	1				
		心理学ゼミナールⅡ	2後	2		3	2	1	1				
		心理学ゼミナールⅢ	3前	2		3	2	1	1				
		心理学ゼミナールⅣ	3後	2		3	2	1	1				
		卒業研究Ⅰ	4前	2		3	2	1	1				
		卒業研究Ⅱ	4後	2		3	2	1	1				
	小計(19科目)		-	20	18	0	3	2	1	1	0	0	
専門 教育 科目	社会・産業心理学領域 展開応用科目	社会心理学概論	1後	2			1						
		コミュニケーション心理学	1前		2		1						
		社会・集団・家族心理学	2前		2		1						
		産業・組織心理学	3前		2		1						
		消費者行動論	2前		2								
		広告と消費の心理学	3後		2		1						
		グループダイナミクス	2後		2		1						
		社会調査論	1前		2					1			
		社会調査法Ⅰ(データ解析Ⅰ)	2前		2					1			
		社会調査法Ⅱ(データ解析Ⅱ)	2後		2					1			
		質的研究法	2後		2					1			
		キャリアの心理学	3前		2			1					
		社会心理学調査演習Ⅰ	3前		2			1		1			
		社会心理学調査演習Ⅱ	3後		2			1		1			

【令和6年度】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担		
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
総合 教育 科目	教養科目	北陸大学の学び	1前	1									1	
		自然科学概論	1後		2								1	
		哲学	1前		2								1	
		社会学	1前		2								1	
		芸術学	1後		2								1	
		経済学	2前		2								1	
		ジェンダー論	2前		2								1	
		日本史	1後		2								1	
		日本国憲法	2前		2								1	
		スポーツⅠ	1前		1								1	
		スポーツⅡ	1後		1								1	
		スポーツ科学	2前		2								1	
	外国語科目	情報処理入門	1前	1					1					
		情報処理応用	1後		1				1					
		English CommunicationⅠ	1前	1									1	
		English CommunicationⅡ	1後	1									1	
		総合英語Ⅰ	2前		2								1	
		総合英語Ⅱ	2後		2								1	
	キャリア科目	総合英語Ⅲ	3前		2								1	
		総合英語Ⅳ	3後		2								1	
		中国語会話	2前		1								1	
		PBL入門	1後		2								2	
		現代社会と職業	2後		2								1	
		コミュニケーション技法Ⅰ	2前		2								2	
		コミュニケーション技法Ⅱ	3後		2								1	
		体験学習Ⅰ	1後		1		1							
		体験学習Ⅱ	2前		1		1							
		職業理解とインターンシップ	3前		2								1	
		海外インターンシップ	2前		1		1							
小計(29科目)		-	4	43	0	1	1	0	0	0	15			
専門 教育 科目	共通領域	心理学概論Ⅰ	1前	2				1						
		心理学概論Ⅱ	1後	2				1						
		心理学統計法	1後		2				1					
		心理学研究法	1後		2					1				
		心理学実験Ⅰ	2前		2				1	1		2		
		心理学実験Ⅱ	2後		2				1	1		2		
		心理社会データ解析	3前		2							1		
		心理調査概論(未開講)	2前		2		1							
		心理学英文講読	3後		2			1						
		心理学特殊講義Ⅰ	3後		2		1							
		心理学特殊講義Ⅱ	4前		2							1		
		心理学基礎演習Ⅰ	1前	2		3	2	1				2		
		心理学基礎演習Ⅱ	1後	2		3	2	1				2		
		心理学ゼミナールⅠ	2前	2		3	2	1				2		
		心理学ゼミナールⅡ	2後	2		3	2	1				2		
		心理学ゼミナールⅢ	3前	2		3	2	1				2		
		心理学ゼミナールⅣ	3後	2		3	2	1				2		
		卒業研究Ⅰ	4前	2		3	2	1				2		
		卒業研究Ⅱ	4後	2		3	2	1				2		
	小計(19科目)		-	20	18	0	3	2	1	2	0	0		
	専門 教育 科目	社会・産業心理学領域	社会心理学概論	1後	2			1						
			コミュニケーション心理学	1前		2			1					
			社会・集団・家族心理学	2前		2			1					
産業・組織心理学			3前		2			1						
消費者行動論			2後		2									
広告と消費の心理学			3後		2			1						
グループダイナミクス			2後		2			1						
社会調査論			1前		2						1			
社会調査法Ⅰ(データ解析Ⅰ)			2前		2						1			
社会調査法Ⅱ(データ解析Ⅱ)			2後		2						1			
質的研究法			2後		2						1			
キャリアの心理学			3前		2			1						
社会心理学調査演習Ⅰ			3前		2			1			1			
社会心理学調査演習Ⅱ			3後		2			1			1			

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担		
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
展開 応用科目	臨床心理学領域	臨床心理学概論	1後	2				1						
		障害者・障害児心理学	2後	2			1							
		心理的アセスメント	2後	2				1						
		健康・医療心理学	3前	2				1						
		心理学的支援法	2前	2				1						
		福祉心理学	3後	2			1							
		司法・犯罪心理学	3後	2				1						
		人体の構造と機能及び疾病	1前	2								1		
		精神疾患とその治療	3前	2								1		
		関係行政論	3前	2				1						
		心理演習	3後	2			1	1	1					
		心理実習	4通	2			2	1	1					
	公認心理師の職責	2前	2			1								
	教育・発達心理学領域	発達心理学	1後		2		1							
		児童心理学	2前		2		1							
		青年心理学	2後		2		1							
		教育・学校心理学	3前		2		1							
		生涯発達心理学	2後		2		1							
		認知・神経科学領域	感情・人格心理学	2前		2			1					
			知覚・認知心理学	2前		2			1					
			学習・言語心理学	2後		2		1						
			神経・生理心理学	2後		2							1	
			小計(36科目)	-	4	68	0	3	2	1	1	0	2	
			専門 教育科目	現代社会科目	北陸の文化と社会	1前		2						
		国際関係学入門			1前		2							1
	異文化間コミュニケーション	1後				2							1	
	文化資源学入門	1後				2							1	
	ことばと文化	1後				2							4	
	宗教学	1後				2							1	
	言語学入門	2前				2							3	
	国際関係史	2前				2							1	
	現代日本論	2前				2							1	
	経営組織論	2前				2							1	
	教育社会学	2前				2							1	
	家族社会学	2後				2		1						
	環境社会学	2後				2		1						
国際社会論	2後				2							1		
中国の文化と社会	2後				2							1		
文化資源学(歴史・民族)	2前				2							1		
文化資源学(美術・工芸)	2後				2							1		
文化資源学(史跡・名勝地)	3前				2							1		
文化資源学(世界遺産)	3後				2							1		
観光ビジネス論	3後				2							1		
現代アジア論Ⅰ	3前				2							1		
現代アジア論Ⅱ	3後				2							1		
現代アメリカ論	3前				2							1		
現代ヨーロッパ論	3後				2							1		
国際協力論	3前				2							2		
英語圏の文化と社会	3後				2							1		
マーケティング論	3前				2							1		
マーケットリサーチ論	4前				2							1		
英米文学史	4前				2							1		
海外研修A	2前・後				1							1		
海外研修B	2前・後		1							1				
短期海外研修	1・2・3前・後		1							1				
海外語学研修A	1・2・3前・後		2							1				
海外語学研修B	1・2・3前・後		2							1				
海外留学A	1・2・3前・後		6							1				
海外留学B	1・2・3前・後		6							1				
海外留学C	1・2・3前・後		6							1				
海外留学D	1・2・3前・後		6							1				
小計(38科目)		-	0	89	0	2	0	0	0	0	15			
合計(122科目)				-	28	218	0	3	2	1	1	0	28	
卒業要件及び履修方法														
総合教育科目【必修】 4単位														
【選択】 16単位 計 20単位以上														
専門教育科目【必修】 24単位														
【選択】 共通領域及び展開応用科目から58単位以上														
現代社会科目から22単位以上														
計124単位以上														
(履修科目の登録の上限:42単位(年間))														

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担		
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
展開 応用科目	臨床心理学領域	臨床心理学概論	1後	2				1						
		障害者・障害児心理学	2後	2			1							
		心理的アセスメント	2後	2				1						
		健康・医療心理学	3前	2				1						
		心理学的支援法	2前	2				1						
		福祉心理学	3後	2			1							
		司法・犯罪心理学	3後	2				1						
		人体の構造と機能及び疾病	1前	2								1		
		精神疾患とその治療	3前	2								1		
		関係行政論	3前	2			1							
		心理演習	3後	2			2	1	1					
		心理実習	4通	2			2	1	1					
	教育・発達心理学領域	公認心理師の職責	2前	2			1							
		発達心理学	1後		2		1							
		児童心理学	2前		2		1							
		青年心理学	2後		2		1							
		教育・学校心理学	3前		2		1							
		生涯発達心理学	2後		2		1							
		認知・神経科学領域	感情・人格心理学	2前		2			1					
			知覚・認知心理学	2前		2			1					
			学習・言語心理学	2後		2		1						
			神経・生理心理学	2後		2							1	
			小計(36科目)	-	4	68	0	3	2	1	1	0	2	
			専門 教育科目	現代 社会 科目	北陸の文化と社会	1前		2						
	国際関係学入門	1前				2								3
	異文化間コミュニケーション	1後				2								1
	文化資源学入門	1後				2								1
	ことばと文化	1後				2								3
	宗教学	1後				2								1
	言語学入門	2前				2								1
	国際関係史	2前				2								1
	現代日本論	2後				2								1
	経営組織論	2後				2								1
	教育社会学	2前				2								1
	家族社会学	2後				2			1					
	環境社会学	2後				2			1					
国際社会論	2後				2								1	
中国の文化と社会	2後				2								1	
文化資源学(歴史・民族)	2前				2								1	
文化資源学(美術・工芸)	2後				2								1	
文化資源学(史跡・名勝地)	3前				2								1	
文化資源学(世界遺産)	3前				2								1	
観光ビジネス論	3前				2								1	
現代アジア論Ⅰ	3前				2								1	
現代アジア論Ⅱ	3後				2								1	
現代アメリカ論	3後				2								1	
現代ヨーロッパ論	3前				2								1	
国際協力論	3前				2								2	
英語圏の文化と社会	3後				2								1	
マーケティング論	3前				2								1	
マーケットリサーチ論	4前				2								1	
英米文学史	4後				2								1	
海外研修A	2前・後				1				1					
海外研修B	2前・後				1				1					
短期海外研修	1・2・3前・後				1				1					
海外語学研修A	1・2・3前・後				2				1					
海外語学研修B	1・2・3前・後				2				1					
海外留学A	1・2・3前・後				6				1					
海外留学B	1・2・3前・後				6				1					
海外留学C	1・2・3前・後		6				1							
海外留学D	1・2・3前・後		6				1							
小計(38科目)	-	0	89	0	2	0	0	0	0	0	13			
合計(122科目)			-	28	218	0	3	2	1	2	0	26		
卒業要件及び履修方法														
総合教育科目【必修】 4単位 【選択】 16単位 計 20単位以上														
専門教育科目【必修】 24単位 【選択】 共通領域及び展開応用科目から58単位以上 現代社会科目から22単位以上														
計124単位以上 (履修科目の登録の上限:42単位(年間))														

【令和5年度】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担	
				必修 修	選択 択	自由 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
総合 教育 科目	教養科目	北陸大学の学び	1前	1								1	
		自然科学概論	1後		2							1	
		哲学	1前		2							1	
		社会学	1前		2							1	
		芸術学	1後		2							1	
		経済学	2前		2							1	
		ジェンダー論	2前		2							1	
		日本史	1前		2							1	
		日本国憲法	2前		2							1	
		スポーツⅠ	1前		1							1	
		スポーツⅡ	1後		1							1	
		スポーツ科学	2前		2							1	
		情報処理入門	1前	1				1					
		情報処理応用	1後		1			1					
	外国語科目	English CommunicationⅠ	1前	1								1	
		English CommunicationⅡ	1後	1								1	
		総合英語Ⅰ	2前		2							1	
		総合英語Ⅱ	2後		2							1	
		総合英語Ⅲ	3前		2							1	
		総合英語Ⅳ	3後		2							1	
		中国語会話	2前		1							1	
	キャリア科目	PBL入門	1後		2				1	1		2	
		現代社会と職業	2後		2							1	
		コミュニケーション技法Ⅰ	2前		2				1			2	
		コミュニケーション技法Ⅱ	3後		2			1				1	
		体験学習Ⅰ	1後		1		1						
		体験学習Ⅱ	2前		1		1						
		職業理解とインターンシップ	3前		2							1	
		海外インターンシップ	2前		1		1						
専門 教育 科目	共通領域	小計(29科目)	－	4	43	0	1	2	1	1	0	14	
		心理学概論Ⅰ	1前	2				1					
		心理学概論Ⅱ	1後	2				1					
		心理学統計法	1後		2			1					
		心理学研究法	1後		2				1				
		心理学実験Ⅰ	2前		2		1	1	1	1			
		心理学実験Ⅱ	2後		2		1	1	1	1			
		心理社会データ解析	3前		2					1			
		心理調査概論	2前		2		1						
		心理学英文講読	3後		2			1					
		心理学特殊講義Ⅰ	3後		2								
		心理学特殊講義Ⅱ	4前		2		1						
		心理学基礎演習Ⅰ	1前	2		3	2	1	1				
		心理学基礎演習Ⅱ	1後	2		3	2	1	1				
		心理学ゼミナールⅠ	2前	2		3	2	1	1				
		心理学ゼミナールⅡ	2後	2		3	2	1	1				
		心理学ゼミナールⅢ	3前	2		3	2	1	1				
		心理学ゼミナールⅣ	3後	2		3	2	1	1				
		卒業研究Ⅰ	4前	2		3	2	1	1				
		卒業研究Ⅱ	4後	2		3	2	1	1				
	小計(19科目)	－	20	18	0	3	2	1	1	0	0		
	専門 教育 科目	社会・産業心理学領域	社会心理学概論	1後	2			1					
			コミュニケーション心理学	1前		2			1				
			社会・集団・家族心理学	2前		2			1				
			産業・組織心理学	3前		2			1				
			消費者行動論	2前		2							
			広告と消費の心理学	3後		2		1					
			グループダイナミクス	2後		2		1					
			社会調査論	1前		2					1		
社会調査法Ⅰ(データ解析Ⅰ)			2前		2					1			
社会調査法Ⅱ(データ解析Ⅱ)			2後		2					1			
質的研究法			2後		2					1			
キャリアの心理学			3前		2		1						
社会心理学調査演習Ⅰ			3前		2		1			1			
社会心理学調査演習Ⅱ			3後		2		1			1			

【令和4年度】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
総合 教育 科目	教養科目	北陸大学の学び	1前	1									2
		自然科学概論	1後		2								1
		哲学	1前		2								1
		社会学	1前		2						1		
		芸術学	1後		2								1
		経済学	2前		2								1
		ジェンダー論	2前		2								1
		日本史	1前		2								1
		日本国憲法	2前		2								1
		スポーツⅠ	1前		1								1
		スポーツⅡ	1後		1								1
		スポーツ科学	2前		2								1
		情報処理入門	1前	1				1			1		
		情報処理応用	1後		1			1			1		
	外国語科目	English CommunicationⅠ	1前	1									2
		English CommunicationⅡ	1後	1									2
		総合英語Ⅰ	2前		2								1
		総合英語Ⅱ	2後		2								1
		総合英語Ⅲ	3前		2								1
		総合英語Ⅳ	3後		2								1
		中国語会話	2前		1								1
		キャリア科目	PBL入門	1後		2					1	1	
	現代社会と職業		2後		2								1
	コミュニケーション技法Ⅰ		2前		2						1		1
	コミュニケーション技法Ⅱ		3後		2			1					2
	体験学習Ⅰ		1後		1								1
	体験学習Ⅱ		2前		1								1
	職業理解とインターンシップ		3前		2								2
	海外インターンシップ		2前		1								1
小計(29科目)	－		4	43	0	0	2	1	1	0		17	
専門 教育 科目	共通領域		心理学概論Ⅰ	1前	2				1				
		心理学概論Ⅱ	1後	2			2						
		心理学統計法	1後		2		1						
		心理学研究法	1後		2					1			
		心理学実験Ⅰ	2前		2		1	1	1	1	1		
		心理学実験Ⅱ	2後		2		1	1	1	1	1		
		心理社会データ解析	3前		2					1			
		心理調査概論	2前		2		1						
		心理学英文講読	3後		2			1					
		心理学特殊講義Ⅰ	3後		2		1						
		心理学特殊講義Ⅱ	4前		2		1						
		心理学基礎演習Ⅰ	1前	2		3	2	1	1	1			
		心理学基礎演習Ⅱ	1後	2		3	2	1	1	1			
		心理学ゼミナールⅠ	2前	2		3	2	1	1	1			
		心理学ゼミナールⅡ	2後	2		3	2	1	1	1			
		心理学ゼミナールⅢ	3前	2		3	2	1	1	1			
		心理学ゼミナールⅣ	3後	2		3	2	1	1	1			
		卒業研究Ⅰ	4前	2		3	2	1	1	1			
		卒業研究Ⅱ	4後	2		3	2	1	1	1			
		小計(19科目)	－	20	18	0	3	2	1	1	0		0
専門 教育 科目	社会・産業心理学領域	社会心理学概論	1後	2			1						
		コミュニケーション心理学	1前		2		1						
		社会・集団・家族心理学	2前		2		1						
		産業・組織心理学	3前		2		1						
		消費者行動論	2前		2								1
		広告と消費の心理学	3後		2		1						
		グループダイナミクス	2後		2		1						
		社会調査論	1前		2						1		
		社会調査法Ⅰ(データ解析Ⅰ)	2前		2						1		
		社会調査法Ⅱ(データ解析Ⅱ)	2後		2						1		
		質的研究法	2後		2						1		
		キャリアの心理学	3前		2		1						
		社会心理学調査演習Ⅰ	3前		2		1				1		
		社会心理学調査演習Ⅱ	3後		2		1				1		

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
専門 教育科目	臨床心理学領域 展開応用科目	臨床心理学概論	1後	2			1						
		障害者・障害児心理学	2後	2		1							
		心理的アセスメント	2後	2			1						
		健康・医療心理学	3前	2			1						
		心理学的支援法	2前	2			1						
		福祉心理学	3後	2		1							
		司法・犯罪心理学	3後	2			1						
		人体の構造と機能及び疾病	1前	2							1		
		精神疾患とその治療	3前	2							1		
		関係行政論	3前	2		1							
		心理演習	3後	2		2	1	1					
		心理実習	4通	2		2	1	1					
	公認心理師の職責	2前	2		1								
	教育・発達心理学領域	発達心理学	1後		2		1						
		児童心理学	2前		2		1						
		青年心理学	2後		2		1						
		教育・学校心理学	3前		2		1						
		生涯発達心理学	2後		2		1						
		認知・神経科学領域	感情・人格心理学	2前		2			1				
	知覚・認知心理学		2前		2			1					
	学習・言語心理学		2後		2		1						
	神経・生理心理学		2後		2							1	
	小計(36科目)		-	4	68	0	3	2	1	1	0	2	
	現代 社会 科目	北陸の文化と社会	1前		2								1
		国際関係学入門	1前		2								1
		異文化間コミュニケーション	1後		2								1
		文化資源学入門	1後		2								1
		ことばと文化	1後		2								3
		宗教学	1後		2								1
		言語学入門	2前		2								1
		国際関係史	2前		2								1
		現代日本論	2前		2								1
		経営組織論	2前		2								1
		教育社会学	2前		2								1
		家族社会学	2後		2		1						
		環境社会学	2後		2		1						
		国際社会論	2後		2								1
		中国の文化と社会	2後		2								1
		文化資源学(歴史・民族)	2前		2								1
		文化資源学(美術・工芸)	2後		2								1
		文化資源学(史跡・名勝地)	3前		2								1
		文化資源学(世界遺産)	3後		2								1
		観光ビジネス論	3後		2								1
		現代アジア論Ⅰ	3前		2								1
現代アジア論Ⅱ		3後		2								1	
現代アメリカ論		3前		2								1	
現代ヨーロッパ論		3後		2								1	
国際協力論		3前		2								2	
英語圏の文化と社会		3後		2								1	
マーケティング論		3前		2								1	
マーケットリサーチ論		4前		2								1	
英米文学史		4前		2								1	
海外研修A		2前・後		1			1						
海外研修B		2前・後		1			1						
短期海外研修		1・2・3前・後		1			1						
海外語学研修A		1・2・3前・後		2			1						
海外語学研修B		1・2・3前・後		2			1						
海外留学A		1・2・3前・後		6			1						
海外留学B		1・2・3前・後		6			1						
海外留学C		1・2・3前・後		6			1						
海外留学D		1・2・3前・後		6			1						
小計(38科目)	-	0	89	0	2	0	0	0	0	0	14		
合計(122科目)			-	28	218	0	3	2	1	1	0	26	
卒業要件及び履修方法													
総合教育科目【必修】 4単位													
【選択】 16単位 計 20単位以上													
専門教育科目【必修】 24単位													
【選択】 共通領域及び展開応用科目から58単位以上													
現代社会科目から22単位以上													
計124単位以上													
(履修科目の登録の上限:42単位(年間))													

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専門 教育科目	臨床心理学領域	臨床心理学概論	1後	2				1				
		障害者・障害児心理学	2後	2			1					
		心理的アセスメント	2後	2				1				
		健康・医療心理学	3前	2				1				
		心理学的支援法	2前	2				1				
		福祉心理学	3後	2			1					
		司法・犯罪心理学	3後	2				1				
		人体の構造と機能及び疾病	1前	2								1
		精神疾患とその治療	3前	2								1
		関係行政論	3前	2				1				
		心理演習	3後	2				1	1	1		
		心理実習	4通	2				2	1	1		
	教育・発達心理学領域	公認心理師の職責	2前	2				1				
		発達心理学	1後	2				1				
		児童心理学	2前	2				1				
		青年心理学	2後	2				1				
		教育・学校心理学	3前	2				1				
		生涯発達心理学	2後	2				1				
	認知・神経科学領域	感情・人格心理学	2前	2					1			
		知覚・認知心理学	2前	2					1			
		学習・言語心理学	2後	2				1				
		神経・生理心理学	2後	2								1
		小計(36科目)	-	4	68	0	3	2	1	1	0	2
		現代 社会 科目	北陸の文化と社会	1前	2							
	国際関係学入門		1前	2								1
	異文化間コミュニケーション		1後	2								1
	文化資源学入門		1後	2								1
	ことばと文化		1後	2								4
	宗教学		1後	2								1
	言語学入門		2前	2								1
	国際関係史		2前	2								1
	現代日本論		2前	2								1
	経営組織論		2前	2								1
	教育社会学		2前	2								1
	家族社会学		2後	2				1				
	環境社会学		2後	2				1				
国際社会論	2後		2								1	
中国の文化と社会	2後		2								1	
文化資源学(歴史・民族)	2前		2								1	
文化資源学(美術・工芸)	2後		2								1	
文化資源学(史跡・名勝地)	3前		2								1	
文化資源学(世界遺産)	3後		2								1	
観光ビジネス論	3後		2								1	
現代アジア論Ⅰ	3前		2								1	
現代アジア論Ⅱ	3後		2								1	
現代アメリカ論	3前		2								1	
現代ヨーロッパ論	3後		2								1	
国際協力論	3前		2								2	
英語圏の文化と社会	3後		2								1	
マーケティング論	3前		2								1	
マーケットリサーチ論	4前		2								1	
英米文学史	4前		2								1	
海外研修A	2前・後		1		1						1	
海外研修B	2前・後		1		1						1	
短期海外研修	1・2・3前・後		1		1						1	
海外語学研修A	1・2・3前・後		2		1						1	
海外語学研修B	1・2・3前・後		2		1						1	
海外留学A	1・2・3前・後		6		1						1	
海外留学B	1・2・3前・後		6		1						1	
海外留学C	1・2・3前・後		6		1						1	
海外留学D	1・2・3前・後		6		1						1	
小計(38科目)	-	0	89	0	2	0	0	0	0	15		
合計(122科目)			-	28	218	0	3	2	1	1	0	28
卒業要件及び履修方法												
総合教育科目【必修】 4単位 【選択】 16単位 計 20単位以上												
専門教育科目【必修】 24単位 【選択】 共通領域及び展開応用科目から58単位以上 現代社会科目から22単位以上												
計124単位以上 (履修科目の登録の上限:42単位(年間))												

【令和3年度】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
総合 教育 科目	教養科目	北陸大学の学び	1前	1									2
		自然科学概論	1後		2								1
		哲学	1前		2								1
		社会学	1前		2						1		
		芸術学	1後		2								1
		経済学	2前		2								1
		ジェンダー論	2前		2								1
		日本史	1前		2								1
		日本国憲法	2前		2								1
		スポーツⅠ	1前		1								1
		スポーツⅡ	1後		1								1
		スポーツ科学	2前		2								1
		情報処理入門	1前	1				1			1		
		情報処理応用	1後		1				1		1		
	外国語科目	English CommunicationⅠ	1前	1									2
		English CommunicationⅡ	1後	1									2
		総合英語Ⅰ	2前		2								1
		総合英語Ⅱ	2後		2								1
		総合英語Ⅲ	3前		2								1
		総合英語Ⅳ	3後		2								1
		中国語会話	2前		1								1
	キャリア科目	PBL入門	1後		2				1	1			2
		現代社会と職業	2後		2								1
		コミュニケーション技法Ⅰ	2前		2					1			1
		コミュニケーション技法Ⅱ	3後		2			1					2
		体験学習Ⅰ	1後		1								1
		体験学習Ⅱ	2前		1								1
		職業理解とインターンシップ	3前		2								2
		海外インターンシップ	2前		1								1
	小計(29科目)		－	4	43	0	0	2	1	1	0	18	
専門 教育 科目	共通領域	心理学概論Ⅰ	1前	2				1					
		心理学概論Ⅱ	1後	2			2						
		心理学統計法	1後		2		1						
		心理学研究法	1後		2				1				
		心理学実験Ⅰ	2前		2		1	1	1	1			
		心理学実験Ⅱ	2後		2		1	1	1	1			
		心理社会データ解析	3前		2				1				
		心理調査概論	2前		2		1						
		心理学英文講読	3後		2			1					
		心理学特殊講義Ⅰ	3後		2		1						
		心理学特殊講義Ⅱ	4前		2		1						
		心理学基礎演習Ⅰ	1前	2		3	2	1	1				
		心理学基礎演習Ⅱ	1後	2		3	2	1	1				
		心理学ゼミナールⅠ	2前	2		3	2	1	1				
		心理学ゼミナールⅡ	2後	2		3	2	1	1				
		心理学ゼミナールⅢ	3前	2		3	2	1	1				
		心理学ゼミナールⅣ	3後	2		3	2	1	1				
		卒業研究Ⅰ	4前	2		3	2	1	1				
		卒業研究Ⅱ	4後	2		3	2	1	1				
		小計(19科目)		－	20	18	0	3	2	1	1	0	0
専門 教育 科目	社会・産業心理学領域 展開応用科目	社会心理学概論	1後	2			1						
		コミュニケーション心理学	1前		2		1						
		社会・集団・家族心理学	2前		2		1						
		産業・組織心理学	3前		2		1						
		消費者行動論	2前		2								
		広告と消費の心理学	3後		2		1						
		グループダイナミクス	2後		2		1						
		社会調査論	1前		2					1			
		社会調査法Ⅰ(データ解析Ⅰ)	2前		2					1			
		社会調査法Ⅱ(データ解析Ⅱ)	2後		2					1			
		質的研究法	2後		2					1			
		キャリアの心理学	3前		2		1						
		社会心理学調査演習Ⅰ	3前		2		1			1			
		社会心理学調査演習Ⅱ	3後		2		1			1			

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
専門 教育 科目	臨床心理学領域 展開応用科目	臨床心理学概論	1後	2			1						
		障害者・障害児心理学	2後	2		1							
		心理的アセスメント	2後	2			1						
		健康・医療心理学	3前	2			1						
		心理学的支援法	2前	2			1						
		福祉心理学	3後	2		1							
		司法・犯罪心理学	3後	2			1						
		人体の構造と機能及び疾病	1前	2								1	
		精神疾患とその治療	3前	2								1	
		関係行政論	3前	2		1							
		心理演習	3後	2		1	1	1					
		心理実習	4通	2		2	1	1					
		公認心理師の職責	2前	2		1							
	教育・発達心理学領域	発達心理学	1後		2		1						
		児童心理学	2前		2		1						
		青年心理学	2後		2		1						
		教育・学校心理学	3前		2		1						
		生涯発達心理学	2後		2		1						
	認知・神経科学領域	感情・人格心理学	2前		2			1					
		知覚・認知心理学	2前		2			1					
		学習・言語心理学	2後		2		1						
		神経・生理心理学	2後		2							1	
	小計(36科目)		-	4	68	0	3	2	1	1	0	2	
	現代 社会 科目	北陸の文化と社会	1前		2								1
		国際関係学入門	1前		2								1
		異文化間コミュニケーション	1後		2								1
		文化資源学入門	1後		2								1
		ことばと文化	1後		2								4
		宗教学	1後		2								1
		言語学入門	2前		2								3
		国際関係史	2前		2								1
		現代日本論	2前		2								1
		経営組織論	2前		2								1
		教育社会学	2前		2								1
		家族社会学	2後		2		1						
		環境社会学	2後		2		1						
		国際社会論	2後		2								1
		中国の文化と社会	2後		2								1
		文化資源学(歴史・民族)	2前		2								1
		文化資源学(美術・工芸)	2後		2								1
		文化資源学(史跡・名勝地)	3前		2								1
		文化資源学(世界遺産)	3後		2								1
		観光ビジネス論	3後		2								1
		現代アジア論Ⅰ	3前		2								1
		現代アジア論Ⅱ	3後		2								1
		現代アメリカ論	3前		2								1
		現代ヨーロッパ論	3後		2								1
国際協力論		3前		2								2	
英語圏の文化と社会		3後		2								1	
マーケティング論		3前		2								1	
マーケットリサーチ論		4前		2								1	
英米文学史		4前		2								1	
海外研修A		2前・後		1								1	
海外研修B		2前・後		1								1	
短期海外研修		1・2・3期(後)		1								1	
海外語学研修A		1・2・3期(後)		2								1	
海外語学研修B		1・2・3期(後)		2								1	
海外留学A		1・2・3期(後)		6								1	
海外留学B		1・2・3期(後)		6								1	
海外留学C		1・2・3期(後)		6								1	
海外留学D		1・2・3期(後)		6								1	
小計(38科目)		-	0	89	0	2	0	0	0	0	16		
合計(122科目)				-	28	218	0	3	2	1	1	0	28
卒業要件及び履修方法													
総合教育科目【必修】 4単位													
【選択】 16単位 計 20単位以上													
専門教育科目【必修】 24単位													
【選択】 共通領域及び展開応用科目から58単位以上													
現代社会科目から22単位以上													
計124単位以上													
(履修科目の登録の上限:42単位(年間))													

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和3年度】

- ・「PBL入門」は、担当者調整により兼任・兼任の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。

【令和4年度】

- ・「言語学入門」は、科目担当者調整により兼任・兼任の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任1」に変更。

【令和5年度】

- ・「北陸大学の学び」は、科目担当者調整により、兼任・兼任の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・「社会学」は、科目担当者調整により、専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」、兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・「情報処理入門」「情報処理応用」は、科目担当者調整により、専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」に変更。
- ・「English Communication I」「English Communication II」は、科目担当者調整により、兼任・兼任の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・「コミュニケーション技法 I」は、科目担当者調整により、兼任・兼任の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・「コミュニケーション技法 II」は、科目担当者調整により、兼任・兼任の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・「体験学習 I」「体験学習 II」は、科目担当者の退職により、専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、兼任・兼任の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任0」に変更。
- ・「海外インターンシップ」は、科目担当者の退職により、専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、兼任・兼任の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任0」に変更。
- ・「心理学概論 II」は、科目担当者調整により、専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・「心理学統計法」は、科目担当者調整により、専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・「心理社会データ解析」は、科目担当者調整により、専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」、「助教0」から「助教1」に変更。
- ・「心理演習」は、科目担当者調整により、専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・「ことばと文化」は、科目担当者調整により、兼任・兼任教員等の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・「海外研修 A」「海外研修 B」「短期海外研修」は、科目担当者の退職により、専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、兼任・兼任の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任0」に変更。
- ・「海外語学研修 A」「海外語学研修 B」は、科目担当者調整により、専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、兼任・兼任の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任0」に変更。
- ・「海外留学 A」「海外留学 B」「海外留学 C」「海外留学 D」は、科目担当者の退職により、専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、兼任・兼任の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任0」に変更。

【令和6年度】

- ・「日本史」は、開講期調整により、配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・「日本国憲法」は、開講期調整により、配当年次を「2前」から「2後」に変更。
- ・「消費者行動論」は、開講期調整により、配当年次を「2前」から「2後」に変更。
- ・「PBL入門」は、科目担当者調整により、専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・「コミュニケーション技法 I」は、科目担当者調整により、専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」に変更。
- ・「コミュニケーション技法 II」は、科目担当者調整により、専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・「心理学実験 I」「心理学実験 II」は、専任教員の就任による科目担当者調整により、専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「助教1」から「助教2」に変更。
- ・「心理調査概論」は履修者がいなかったため未開講。
- ・「心理学特殊講義 II」は、専任教員の就任による科目担当者調整により、専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「助教0」から「助教1」に変更。
- ・「心理学基礎演習 I」「心理学基礎演習 II」「心理学ゼミナール I」「心理学ゼミナール II」「心理学ゼミナール III」「心理学ゼミナール IV」「卒業研究 I」「卒業研究 II」は、専任教員の就任により、専任教員等の配置を「助教1」から「助教2」に変更。
- ・「国際関係学入門」は、担当者調整により、兼任・兼任の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・「現代日本論」は、開講期調整により、配当年次を「2前」から「2後」に変更。
- ・「経営組織論」は、開講期調整により、配当年次を「2前」から「2後」に変更。
- ・「文化資源学（史跡・名勝地）」は、開講期調整により、配当年次を「3前」から「3後」に変更。
- ・「文化資源学（世界遺産）」は、開講期調整により、配当年次を「3後」から「3前」に変更。
- ・「観光ビジネス論」は、開講期調整により、配当年次を「3後」から「3前」に変更。
- ・「現代アメリカ論」は、開講期調整により、配当年次を「3前」から「3後」に変更。
- ・「現代ヨーロッパ論」は、開講期調整により、配当年次を「3後」から「3前」に変更。
- ・「マーケティング論」は、開講期調整により、配当年次を「3前」から「3後」に変更。
- ・「英米文学史」は、開講期調整により、配当年次を「4前」から「4後」に変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
16 科目	106 科目	0 科目	122 科目	16 科目 [0]	106 科目 [0]	0 科目 [0]	122 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						該当なし
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						該当なし
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（3）と廃止科目（4）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（A）}} = \frac{0}{122} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容					備考		
(1)校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用		計	運動場用地整備に伴い 増設 (4)		
	校 舎 敷 地	91,775.85 m ²	0 m ²	0 m ²		91,775.85 m ²			
	運動場用地	44,704.35 m ² 43,500.49 m²	0 m ²	0 m ²		44,704.35 m ² 43,500.49 m²			
	小 計	136,480.38 m ² 135,276.34 m²	0 m ²	0 m ²		136,480.38 m ² 135,276.34 m²			
	そ の 他	337,786.99 m ²	0 m ²	0 m ²		337,786.99 m ²			
	合 計	474,267.37 m ² 473,063.33 m²	0 m ²	0 m ²		474,267.37 m ² 473,063.33 m²			
(2)校舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用		計	新設校舎面積の訂正 (6) 校舎新設 (5)			
	62,975.96 m² 67,975.96 m² 58,305.62 m² 62,975.96 m² 67,975.96 m² 58,305.62 m²	0 m ²	0 m ²		62,975.96 m² 67,975.96 m² 58,305.62 m² 62,975.96 m² 67,975.96 m² 58,305.62 m²				
		(0 m ²)	(0 m ²)						
(3)教室等	講 義 室	演 習 室	実験実習室		情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 校舎新設 (5)		
	45 室 40 室	65 室 62 室	137 室 129 室		5 室 (補助職員 0人)	0 室 (補助職員 0人)			
(4)専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		国際コミュニケーション学部 心理社会学科			7 室				
(5)図書・設備	新設学部等の 名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本		
		〔うち外国書〕	〔うち外国書〕	電子ジャーナル					
		冊	種	〔うち外国書〕					点
	国際コミュニケーション学部 心理社会学科	1,392 [33] (1392 [33])	3 [3] (1 [1])	0 [0] (0 [0])	0 (0)	98 (71)	0 (0)		
計	1,392 [33] (1392 [33])	3 [3] (1 [1])	0 [0] (0 [0])	0 (0)	98 (71)	0 (0)			
(6)図書館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 書架増設 (4)		
	3,689.34 m ²		635		250,000 162,000				
(7)体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					大学全体	
	6,456.86 m ²		テニスコート3面 (人工芝)		サッカー場2面 (人工芝)				
(8)経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	共同研究費減額 (5) 共同研究費増額 (4)
		教員1人当り研究費等	180千円	180千円	図書購入費	4,496千円	600千円	600千円	
		共 同 研 究 費 等	15,000千円	15,100千円 18,000千円	設備購入費	10,093千円	1,566千円	1,000千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,300千円	1,100千円	1,100千円	1,100千円	— 千円	— 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	北 陸 大 学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	2	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備 考			
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度					
薬学部	6	60	-	360	-	0.58	-	-	平成18	-				
薬学科	6	60	-	360	学士(薬学)	0.58	-	-	平成18	石川県金沢市金川町水3番地	令和元年度から入学定員変更(220→200)			
											令和2年度から入学定員変更(200→160)			
											令和3年度から入学定員変更(160→125)			
											令和4年度から入学定員変更(125→105)			
											令和5年度から入学定員変更(105→100)			
											令和6年度から入学定員変更(100→60)			
経済経営学部	4	250	3年次20	1040	-	0.77	-	-	平成20	-				
マネジメント学科	4	110	3年次10	460	学士(マネジメント学)	0.80	-	-	平成20	石川県金沢市太田が丘1丁目1番地	令和2年度から入学定員変更(230→290)			
											令和3年度から編入学定員変更(113→108)			
											令和4年度から入学定員変更(290→305)			
											令和5年度から編入学定員変更(108→103)			
											令和6年度から入学定員変更(305→110)			
											令和6年度から編入学定員変更(103→10)			
経済学科	4	140	3年次10	580	学士(経済学)	0.51	-		令和6	同上				
国際コミュニケーション学部	4	120	3年次10	500		0.82	-	令和5	平成29	-				
国際コミュニケーション学科	4	60	3年次10	260	学士(文学)	0.80	-	-	平成29	同上	令和3年度から編入学定員変更(20→40)			
											令和4年度から入学定員変更(80→95)			
											令和5年度から編入学定員変更(40→30)			
											令和6年度から入学定員変更(95→60)			
											令和6年度から編入学定員変更(30→10)			
心理社会学科	4	60	-	240	学士(心理学)	0.88	-	令和5	令和3	同上	令和5年度から入学定員変更(45→60)			
医療保健学部	4	120	-	480		0.90	-	平成29		-				
医療技術学科	4	60	-	240	学士(医療技術学)	0.92	-	平成29		同上	令和3年度から入学定員変更(60→65)			
											令和6年度から入学定員変更(65→60)			
理学療法学科	4	60	-	240	学士(理学療法学)	1.05	-	令和5		同上				
大学全体	-	550	3年次30	2380	-	-	-	-	-	-				

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
- ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「－」とした上で、「非表示」設定としてください。
 - ・学部・学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度A Cの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和7年度開設用）IV. 33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「－」としてください。
 - ・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 - ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教員組織の状況

＜国際コミュニケーション学部 心理社会学科＞

(1) ー① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専 教授	教授	林 洋一 (70) (高) ＜令和3年4月＞ 文学修士※	心理学基礎演習Ⅰ 心理学基礎演習Ⅱ 心理学ゼミナールⅠ 心理学ゼミナールⅡ 心理学ゼミナールⅢ 心理学ゼミナールⅣ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ コミュニケーション心理学 心理学概論Ⅱ 発達心理学 児童心理学 生涯発達心理学 青年心理学 家族社会学 教育・学校心理学 心理学特殊講義Ⅰ 心理演習 心理実習
		河野 俊寛 (64) (高) ＜令和4年4月＞ 博士（学術）	心理学基礎演習Ⅰ 心理学基礎演習Ⅱ 心理学ゼミナールⅠ 心理学ゼミナールⅡ 心理学ゼミナールⅢ 心理学ゼミナールⅣ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 心理学概論Ⅱ 公認心理師の職責 障害者・障害児心理学 学習・言語心理学 関係行政論 福祉心理学 心理学特殊講義Ⅱ 心理実習
		小島 弥生 (49) ＜令和3年4月＞ 修士（心理学）※	心理学基礎演習Ⅰ 心理学基礎演習Ⅱ 心理学ゼミナールⅠ 心理学ゼミナールⅡ 心理学ゼミナールⅢ 心理学ゼミナールⅣ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 社会心理学概論 心理学統計法 社会・集団・家族心理学 心理調査概論 心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ 環境社会学 グループダイナミックス 産業・組織心理学 広告と消費の心理学 キャリアの心理学 社会心理学調査演習Ⅰ 社会心理学調査演習Ⅱ

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専 教授	教授	林 洋一 (70) (高) ＜令和3年4月＞ 文学修士※	心理学基礎演習Ⅰ 心理学基礎演習Ⅱ 心理学ゼミナールⅠ 心理学ゼミナールⅡ 心理学ゼミナールⅢ 心理学ゼミナールⅣ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ コミュニケーション心理学 心理学概論Ⅱ 発達心理学 児童心理学 生涯発達心理学 青年心理学 家族社会学 教育・学校心理学 心理学特殊講義Ⅰ 心理演習 心理実習
		河野 俊寛 (64) (高) ＜令和4年4月＞ 博士（学術）	心理学基礎演習Ⅰ 心理学基礎演習Ⅱ 心理学ゼミナールⅠ 心理学ゼミナールⅡ 心理学ゼミナールⅢ 心理学ゼミナールⅣ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 心理学概論Ⅱ 公認心理師の職責 障害者・障害児心理学 学習・言語心理学 関係行政論 福祉心理学 心理学特殊講義Ⅱ 心理実習
		小島 弥生 (49) ＜令和3年4月＞ 修士（心理学）※	心理学基礎演習Ⅰ 心理学基礎演習Ⅱ 心理学ゼミナールⅠ 心理学ゼミナールⅡ 心理学ゼミナールⅢ 心理学ゼミナールⅣ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 社会心理学概論 心理学統計法 社会・集団・家族心理学 心理調査概論 心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ 環境社会学 グループダイナミックス 産業・組織心理学 広告と消費の心理学 キャリアの心理学 社会心理学調査演習Ⅰ 社会心理学調査演習Ⅱ

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専 教授	教授	林 洋一 (71) (高) ＜令和3年4月＞ 文学修士※	心理学基礎演習Ⅰ 心理学基礎演習Ⅱ 心理学ゼミナールⅠ 心理学ゼミナールⅡ 心理学ゼミナールⅢ 心理学ゼミナールⅣ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ コミュニケーション心理学 心理学概論Ⅱ 発達心理学 児童心理学 生涯発達心理学 青年心理学 家族社会学 教育・学校心理学 心理学特殊講義Ⅰ 心理演習 心理実習
		河野 俊寛 (65) (高) ＜令和4年4月＞ 博士（学術）	心理学基礎演習Ⅰ 心理学基礎演習Ⅱ 心理学ゼミナールⅠ 心理学ゼミナールⅡ 心理学ゼミナールⅢ 心理学ゼミナールⅣ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 心理学概論Ⅱ 公認心理師の職責 障害者・障害児心理学 学習・言語心理学 関係行政論 福祉心理学 心理学特殊講義Ⅱ 心理実習
		小島 弥生 (50) ＜令和3年4月＞ 修士（心理学）※	心理学基礎演習Ⅰ 心理学基礎演習Ⅱ 心理学ゼミナールⅠ 心理学ゼミナールⅡ 心理学ゼミナールⅢ 心理学ゼミナールⅣ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 社会心理学概論 心理学統計法 社会・集団・家族心理学 心理調査概論 心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ 環境社会学 グループダイナミックス 産業・組織心理学 広告と消費の心理学 キャリアの心理学 社会心理学調査演習Ⅰ 社会心理学調査演習Ⅱ

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専 教授	教授	林 洋一 (72) (高) ＜令和3年4月＞ 文学修士※	心理学基礎演習Ⅰ 心理学基礎演習Ⅱ 心理学ゼミナールⅠ 心理学ゼミナールⅡ 心理学ゼミナールⅢ 心理学ゼミナールⅣ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ コミュニケーション心理学 心理学概論Ⅱ 発達心理学 児童心理学 生涯発達心理学 青年心理学 家族社会学 教育・学校心理学 心理演習 心理実習 体験学習Ⅰ 体験学習Ⅱ 海外インターンシップ 海外研修A 海外研修B 短期海外研修 海外語学研修A 海外語学研修B 海外留学A 海外留学B 海外留学C 海外留学D
		河野 俊寛 (66) (高) ＜令和4年4月＞ 博士（学術）	心理学基礎演習Ⅰ 心理学基礎演習Ⅱ 心理学ゼミナールⅠ 心理学ゼミナールⅡ 心理学ゼミナールⅢ 心理学ゼミナールⅣ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 公認心理師の職責 障害者・障害児心理学 学習・言語心理学 関係行政論 福祉心理学 心理学特殊講義Ⅱ 心理実習 心理学特殊講義Ⅰ 心理演習
		小島 弥生 (51) ＜令和3年4月＞ 修士（心理学）※	心理学基礎演習Ⅰ 心理学基礎演習Ⅱ 心理学ゼミナールⅠ 心理学ゼミナールⅡ 心理学ゼミナールⅢ 心理学ゼミナールⅣ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 社会心理学概論 心理学統計法 社会・集団・家族心理学 心理調査概論 心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ 環境社会学 グループダイナミックス 産業・組織心理学 広告と消費の心理学 キャリアの心理学 社会心理学調査演習Ⅰ 社会心理学調査演習Ⅱ

【令和6年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専 教授	教授	林 洋一 (73) (高) ＜令和3年4月＞ 文学修士※	心理学基礎演習Ⅰ 心理学基礎演習Ⅱ 心理学ゼミナールⅠ 心理学ゼミナールⅡ 心理学ゼミナールⅢ 心理学ゼミナールⅣ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ コミュニケーション心理学 心理学概論Ⅱ 発達心理学 児童心理学 生涯発達心理学 青年心理学 家族社会学 教育・学校心理学 心理演習 心理実習 体験学習Ⅰ 体験学習Ⅱ 海外インターンシップ 海外研修A 海外研修B 短期海外研修 海外語学研修A 海外語学研修B 海外留学A 海外留学B 海外留学C 海外留学D
		河野 俊寛 (67) (高) ＜令和4年4月＞ 博士（学術）	心理学基礎演習Ⅰ 心理学基礎演習Ⅱ 心理学ゼミナールⅠ 心理学ゼミナールⅡ 心理学ゼミナールⅢ 心理学ゼミナールⅣ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 公認心理師の職責 障害者・障害児心理学 学習・言語心理学 関係行政論 福祉心理学 心理実習 心理学特殊講義Ⅰ 心理演習
		小島 弥生 (52) ＜令和3年4月＞ 修士（心理学）※	心理学基礎演習Ⅰ 心理学基礎演習Ⅱ 心理学ゼミナールⅠ 心理学ゼミナールⅡ 心理学ゼミナールⅢ 心理学ゼミナールⅣ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 社会心理学概論 心理学統計法 社会・集団・家族心理学 心理調査概論 心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ 環境社会学 グループダイナミックス 産業・組織心理学 広告と消費の心理学 キャリアの心理学 社会心理学調査演習Ⅰ 社会心理学調査演習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	小倉 勳 (62) <令和3年4月> 医学博士	兼任	教授	小倉 勳 (62) <令和3年4月> 医学博士	兼任	教授	小倉 勳 (63) <令和3年4月> 医学博士			
		北陸大学の学び※			北陸大学の学び※			北陸大学の学び※			
兼任	教授	松森 隆一 (71) <令和3年4月> 修士(政治学)	兼任	教授	松森 隆一 (71) <令和3年4月> 修士(政治学)	兼任	教授	松森 隆一 (72) <令和3年4月> 修士(政治学)			
		現代社会と職業 現代日本論 職業理解とインターンシップ 体験学習Ⅰ 体験学習Ⅱ 海外インターンシップ 海外研修A 海外研修B 短期海外研修 海外留学A 海外留学B 海外留学C 海外留学D			現代社会と職業 現代日本論 職業理解とインターンシップ 体験学習Ⅰ 体験学習Ⅱ 海外インターンシップ 海外研修A 海外研修B 短期海外研修 海外留学A 海外留学B 海外留学C 海外留学D			現代社会と職業 現代日本論 職業理解とインターンシップ 体験学習Ⅰ 体験学習Ⅱ 海外インターンシップ 海外研修A 海外研修B 短期海外研修 海外留学A 海外留学B 海外留学C 海外留学D			
兼任	教授	田中 康友 (49) <令和3年4月> 博士(国際政治学)	兼任	教授	田中 康友 (49) <令和3年4月> 博士(国際政治学)	兼任	教授	田中 康友 (50) <令和3年4月> 博士(国際政治学)	兼任	教授	田中 康友 (52) <令和3年4月> 博士(国際政治学)
		国際関係学入門 国際関係史 現代アメリカ論 国際協力論 コミュニケーション技法Ⅱ			国際関係学入門 国際関係史 現代アメリカ論 国際協力論 コミュニケーション技法Ⅱ			国際関係学入門 国際関係史 現代アメリカ論 国際協力論 コミュニケーション技法Ⅱ			国際関係学入門 国際関係史 現代アメリカ論 国際協力論 PBL入門 現代社会と職業 コミュニケーション技法Ⅰ
兼任	教授	村田 和弘 (56) <令和3年4月> 文学修士※	兼任	教授	村田 和弘 (56) <令和3年4月> 文学修士※	兼任	教授	村田 和弘 (57) <令和3年4月> 文学修士※	兼任	教授	村田 和弘 (58) <令和3年4月> 文学修士※
		海外語学研修B ことばと文化			海外語学研修B ことばと文化			海外語学研修B ことばと文化 中国の文化と社会			海外語学研修B ことばと文化 中国の文化と社会
兼任	教授	福江 充 (57) <令和3年4月> 博士(文学)	兼任	教授	福江 充 (57) <令和3年4月> 博士(文学)	兼任	教授	福江 充 (58) <令和3年4月> 博士(文学)	兼任	教授	福江 充 (60) <令和3年4月> 博士(文学)
		日本史 宗教学 北陸の文化と社会 文化資源学入門 文化資源学(歴史・民俗) 文化資源学(史跡・名勝地)			日本史 宗教学 北陸の文化と社会 文化資源学(歴史・民俗) 文化資源学(史跡・名勝地)			日本史 宗教学 北陸の文化と社会 文化資源学(歴史・民俗) 文化資源学(史跡・名勝地)			日本史 宗教学 北陸の文化と社会 文化資源学(歴史・民俗) 文化資源学(史跡・名勝地)
兼任	教授	光本 泰秀 (63) <令和3年4月> 薬学博士									
		北陸大学の学び※									
兼任	教授	五味 一成 (58) <令和4年4月> 経営管理修士(専門職)	兼任	教授	五味 一成 (58) <令和4年4月> 経営管理修士(専門職)	兼任	教授	五味 一成 (59) <令和4年4月> 経営管理修士(専門職)	兼任	教授	五味 一成 (60) <令和4年4月> 経営管理修士(専門職)
		経営組織論			経営組織論			経営組織論			
兼任	教授	南谷 直利 (55) <令和3年4月> 教育学修士									
		スポーツⅠ スポーツⅡ									
兼任	講師	二ノ倉 欣久 (40) <令和3年4月> 博士(医学)	兼任	教授	二ノ倉 欣久 (40) <令和3年4月> 博士(医学)	兼任	教授	二ノ倉 欣久 (50) <令和3年4月> 博士(医学)	兼任	教授	二ノ倉 欣久 (51) <令和3年4月> 博士(医学)
		人体の構造と機能及び疾病 神経・生理心理学 精神疾患とその治療			人体の構造と機能及び疾病 神経・生理心理学 精神疾患とその治療			人体の構造と機能及び疾病 神経・生理心理学 精神疾患とその治療			人体の構造と機能及び疾病 神経・生理心理学 精神疾患とその治療

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 准教授		福山 悠介 (42) <令和3年4月> 修士(政策・メディア)
		PBL入門 現代アジア論Ⅰ 現代アジア論Ⅱ 国際協力論 職業理解とインターンシップ コミュニケーション技法Ⅰ コミュニケーション技法Ⅱ
兼任 准教授		轟 里香 (60) <令和3年4月> 修士(文学)※
		総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ 総合英語Ⅲ 総合英語Ⅳ 言語学入門
兼任 准教授		島 義博 (46) <令和4年4月> 修士(経済学)※
		経済学
兼任 講師		佃 貴弘 (43) <令和4年4月> 博士(法学)
		日本国憲法
兼任 講師		階戸 陽太 (51) <令和3年4月> 博士(教育学)
		ことばと文化 海外語学研修A
兼任 講師		吉田 明代 (46) <令和3年4月> 修士(学術)※
		ことばと文化 言語学入門 英語圏の文化と社会 英米文学史
兼任 講師		島田 博行 (40) <令和3年4月> 修士(言語学)※
		ことばと文化 言語学入門

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 教授		福山 悠介 (42) <令和3年4月> 修士(政策・メディア)
		PBL入門 現代アジア論Ⅰ 現代アジア論Ⅱ 国際協力論 職業理解とインターンシップ コミュニケーション技法Ⅰ コミュニケーション技法Ⅱ
兼任 教授		板倉 栄一郎 (55) <令和3年4月> 修士(教育学)
		北龍大学の学び※
兼任 准教授		轟 里香 (60) <令和3年4月> 修士(文学)※
		総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ 総合英語Ⅲ 総合英語Ⅳ 言語学入門
兼任 准教授		島 義博 (46) <令和4年4月> 修士(経済学)※
		経済学
兼任 講師		佃 貴弘 (43) <令和4年4月> 博士(法学)
		日本国憲法
兼任 講師		吉田 明代 (46) <令和3年4月> 修士(学術)※
		ことばと文化 言語学入門 英語圏の文化と社会 英米文学史 海外語学研修A
兼任 講師		島田 博行 (40) <令和3年4月> 修士(言語学)※
		ことばと文化 言語学入門

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 教授		福山 悠介 (43) <令和3年4月> 修士(政策・メディア)
		PBL入門 現代アジア論Ⅰ 現代アジア論Ⅱ 国際協力論 職業理解とインターンシップ コミュニケーション技法Ⅰ コミュニケーション技法Ⅱ
兼任 教授		板倉 栄一郎 (56) <令和3年4月> 修士(教育学)
		北龍大学の学び※
兼任 教授		松本 和彦 (61) <令和4年4月> 法学修士※
		哲学
兼任 准教授		島 義博 (47) <令和4年4月> 修士(経済学)※
		経済学
兼任 講師		佃 貴弘 (44) <令和4年4月> 博士(法学)
		日本国憲法
兼任 講師		吉田 明代 (47) <令和3年4月> 修士(学術)※
		ことばと文化 英語圏の文化と社会 英米文学史 海外語学研修A
兼任 講師		島田 博行 (41) <令和3年4月> 修士(言語学)※
		ことばと文化

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 教授		福山 悠介 (44) <令和3年4月> 修士(政策・メディア)
		PBL入門 現代アジア論Ⅰ 現代アジア論Ⅱ 国際協力論 職業理解とインターンシップ コミュニケーション技法Ⅰ コミュニケーション技法Ⅱ 現代日本論
兼任 教授		松本 和彦 (62) <令和4年4月> 法学修士※
		哲学
兼任 教授		杉森 公一 (44) <令和5年4月> 博士(理学)
		北龍大学の学び
兼任 教授		並松 信久 (70) <令和5年4月> 農学修士※
		経済学
兼任 講師		佃 貴弘 (45) <令和4年4月> 博士(法学)
		日本国憲法
兼任 准教授		吉田 明代 (48) <令和3年4月> 修士(学術)※
		ことばと文化 英語圏の文化と社会 英米文学史
兼任 准教授		島田 博行 (42) <令和3年4月> 修士(言語学)※
		ことばと文化

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 教授		福山 悠介 (45) <令和3年4月> 修士(政策・メディア)
		PBL入門 現代アジア論Ⅰ 現代アジア論Ⅱ 国際協力論 職業理解とインターンシップ コミュニケーション技法Ⅰ コミュニケーション技法Ⅱ 現代日本論 国際関係学入門
兼任 教授		松本 和彦 (63) <令和4年4月> 法学修士※
		哲学
兼任 教授		杉森 公一 (45) <令和5年4月> 博士(理学)
		北龍大学の学び
兼任 教授		並松 信久 (71) <令和5年4月> 農学修士※
		経済学
兼任 教授		西山 崇宏 (56) <令和6年4月> 哲学博士(Dr.Phil.)
		経営組織論
兼任 教授		石橋 康伸 (59) <令和6年4月> 実務教育修士(専門職)
		マーケティング論 マーケティングリサーチ論
兼任 准教授		野口 雅弘 (47) <令和6年4月> 博士(保健学)
		自然科学概論
兼任 准教授		佃 貴弘 (46) <令和4年4月> 博士(法学)
		日本国憲法
兼任 准教授		吉田 明代 (49) <令和3年4月> 修士(学術)※
		ことばと文化 英語圏の文化と社会 英米文学史
兼任 准教授		島田 博行 (43) <令和3年4月> 修士(言語学)※
		ことばと文化 言語学入門

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	Andrew Gergely (49) <令和3年4月> Master of Arts(Teaching English to Speakers of Other Languages)(米国)	兼任	講師	Andrew Gergely (49) <令和3年4月> Master of Arts(Teaching English to Speakers of Other Languages)(米国)	兼任	准教授	Andrew Gergely (51) <令和3年4月> Master of Arts(Teaching English to Speakers of Other Languages)(米国)	兼任	准教授	Andrew Gergely (52) <令和3年4月> Master of Arts(Teaching English to Speakers of Other Languages)(米国)
		English Communication I English Communication II			English Communication I English Communication II			English Communication I English Communication II			English Communication I English Communication II
兼任	講師	雨野 モリ (28) <令和3年4月> Master of Arts(Teaching English to Speakers of Other Languages)(米国)									
		English Communication I English Communication II									
兼任	講師	川端 健司 (35) <令和4年4月> 修士(教育学)	兼任	准教授	川端 健司 (35) <令和4年4月> 修士(教育学)	兼任	准教授	川端 健司 (36) <令和4年4月> 修士(教育学)			川端 健司 (38) <令和8年4月> 修士(教育学)
		スポーツ科学			スポーツ科学			スポーツ科学			スポーツ科学
			兼任	講師	神戸 和佳子 (34) <令和3年4月> 修士(教育学)※						
					哲学						
			兼任	講師	伊藤 梢 (33) <令和3年4月> 博士(学術)	兼任	講師	伊藤 梢 (34) <令和3年4月> 博士(学術)	兼任	講師	伊藤 梢 (38) <令和3年4月> 博士(学術)
					文化資源学入門			文化資源学入門 文化資源学(美術・工芸)			文化資源学入門 文化資源学(美術・工芸) 文化資源学(世界遺産)
			兼任	講師	David Isaac (55) <令和3年4月> Master of Arts(Teaching English as a Second Language)(米国)	兼任	講師	David Isaac (56) <令和3年4月> Master of Arts(Teaching English as a Second Language)(米国)			
					English Communication I English Communication II			English Communication I English Communication II			
						兼任	講師	茂野 瑞美 (29) <令和4年4月> 修士(文学)	兼任	講師	茂野 瑞美 (30) <令和4年4月> 修士(文学)
								中国語会話			中国語会話
									兼任	講師	大谷 鉄平 (43) <令和5年4月> 修士(日本語日本文学)
											言語学入門
兼任	助教	日下 恭輔 (31) <令和5年4月> 修士(経営学)	兼任	助教	日下 恭輔 (31) <令和5年4月> 修士(経営学)	兼任	助教	日下 恭輔 (32) <令和5年4月> 修士(経営学)	兼任	助教	日下 恭輔 (33) <令和5年4月> 修士(経営学)
		マーケティング論 マーケットリサーチ論			マーケティング論 マーケットリサーチ論			マーケティング論 マーケットリサーチ論			マーケティング論 マーケットリサーチ論
			兼任	助教	宮地 謙 (33) <令和3年4月> 博士(保健学)	兼任	助教	宮地 謙 (34) <令和3年4月> 博士(保健学)	兼任	講師	宮地 謙 (35) <令和3年4月> 博士(保健学)
					自然科学概論			自然科学概論			自然科学概論
兼任	講師	細見 博志 (71) <令和3年4月> 文学修士									
		哲学									
兼任	講師	高寺 恒雄 (67) <令和3年4月> 薬学博士									
		自然科学概論									
兼任	講師	相原 征代 (50) <令和4年4月> 博士(社会学)	兼任	准教授	相原 征代 (50) <令和4年4月> 博士(社会学)	兼任	准教授	相原 征代 (51) <令和4年4月> 博士(社会学)	兼任	准教授	相原 征代 (52) <令和4年4月> 博士(社会学)
		ジェンダー論 国際社会論 現代ヨーロッパ論			ジェンダー論 国際社会論 現代ヨーロッパ論 PBL入門			ジェンダー論 国際社会論 現代ヨーロッパ論 PBL入門			ジェンダー論 国際社会論 現代ヨーロッパ論 社会学 国際関係学入門
兼任	講師	廣田 いずみ (52) <令和3年4月> 芸術学士	兼任	講師	廣田 いずみ (52) <令和3年4月> 芸術学士	兼任	講師	廣田 いずみ (53) <令和3年4月> 芸術学士	兼任	講師	廣田 いずみ (54) <令和3年4月> 芸術学士
		芸術学 文化資源学(美術・工芸) 観光ビジネス論 文化資源学(世界遺産)			芸術学 文化資源学(美術・工芸) 観光ビジネス論 文化資源学(世界遺産)			芸術学 文化資源学(世界遺産)			芸術学 文化資源学(世界遺産)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	南 明世 (31) <令和4年4月> 修士(学術)	兼任	講師	南 明世 (31) <令和4年4月> 修士(学術)	兼任	講師	南 明世 (32) <令和4年4月> 博士(文学)			
		中国語会話 中国の文化と社会			中国語会話 中国の文化と社会			富語学入門			
兼任	講師	荷方 邦夫 (48) <令和4年4月> 博士(心理学)	兼任	講師	荷方 邦夫 (48) <令和4年4月> 博士(心理学)	兼任	講師	荷方 邦夫 (49) <令和4年4月> 博士(心理学)	兼任	講師	荷方 邦夫 (51) <令和4年4月> 博士(心理学)
		消費者行動論			消費者行動論			消費者行動論			消費者行動論
兼任	講師	横山 真美 (39) <令和3年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	横山 真美 (40) <令和3年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	横山 真美 (40) <令和3年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	河内(横山) 真美 (41) <令和3年4月> 修士(教育学)
		異文化間コミュニケーション			異文化間コミュニケーション			異文化間コミュニケーション			異文化間コミュニケーション
兼任	講師	石倉 瑞恵 (50) <令和4年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	石倉 瑞恵 (50) <令和4年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	石倉 瑞恵 (51) <令和4年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	石倉 瑞恵 (53) <令和4年4月> 修士(教育学)
		教育社会学			教育社会学			教育社会学			教育社会学
			兼任	講師	大日向 茂樹 (53) <令和3年4月> 体育学士	兼任	講師	大日向 茂樹 (54) <令和3年4月> 体育学士	兼任	講師	大日向 茂樹 (56) <令和3年4月> 体育学士
					スポーツⅠ スポーツⅡ			スポーツⅠ スポーツⅡ	兼任	講師	スポーツⅠ スポーツⅡ
									兼任	講師	本間 千恵子 (69) <令和5年4月> 文学士
								観光ビジネス論			観光ビジネス論
									兼任	講師	熊谷 史佳 (31) <令和5年4月> 修士(スポーツ科学)
								スポーツ科学			
											SMITH CHRISTOPHER DEAN (35) <令和6年4月> Bachelor of Psychology
											総合英語Ⅲ 総合英語Ⅳ
									兼任	講師	渡邊 彩奈 (35) <令和6年4月> 修士(文学)
											中国語会話

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。

その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字の赤字としてください。**

- ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
- ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実〈研〉、実〈研〉)、兼任、兼任の順に記入してください。
- ・ 不変な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目名を記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和3年度】

- ・伊藤梢講師の就任に伴い、福江充教授（兼任）担当科目「文化資源学入門」を伊藤梢講師（兼任）に担当者を変更。
- ・光本泰秀教授（兼任）担当科目「北陸大学の学び」を担当者調整により、板倉栄一郎教授（兼任）に担当者を変更。
- ・南谷直利教授（兼任）担当科目「スポーツⅠ」「スポーツⅡ」を担当者調整により、大日向茂樹講師（兼任）に担当者を変更。
- ・二ノ倉欣久講師（兼任）の職名を「講師」から「教授」に変更。
- ・福山悠介准教授（兼任）の職名を「准教授」から「教授」に変更。
- ・階戸陽太講師（兼任）退職。「ことばと文化」は他の兼任教員で担当するため、実施に特段の支障はない。「海外語学研修A」は、吉田明代講師（兼任）に担当者を変更。
- ・David Isaacs講師の就任に伴い、雨野モリ一講師（兼任）担当科目「English CommunicationⅠ」「English CommunicationⅡ」をDavid Isaacs講師（兼任）に担当者を変更。
- ・川端健司講師（兼任）の職名を「講師」から「准教授」に変更。
- ・神戸和佳子講師（兼任）の就任に伴い、細見博志講師（兼任）担当科目「哲学」を神戸和佳子講師に担当者を変更。
- ・宮地諒助教（兼任）の就任に伴い、高寺恒雄講師（兼任）担当科目「自然科学概論」を宮地諒助教に担当者を変更。
- ・相原征代講師（兼任）の専任・兼任の別を「兼任」から「兼任」、職名を「講師」から「准教授」に変更し、「PBL入門」を担当科目として追加。

【令和4年度】

- ・轟里審准教授（兼任）退職。「総合英語Ⅰ」「総合英語Ⅱ」「総合英語Ⅲ」「総合英語Ⅳ」をAndrew Gergely准教授（兼任）に担当者を変更。「言語学入門」を南明世講師（兼任）に担当者を変更。
- ・島田博行講師（兼任）の担当科目調整により、「言語学入門」を南明世講師（兼任）に担当者を変更。
- ・Andrew Gergely講師（兼任）の職名を「講師」から「准教授」に変更。
- ・神戸和佳子講師（兼任）退職に伴い、「哲学」を松本和彦教授（兼任）に担当者を変更。
- ・廣田いずみ講師（兼任）の担当科目調整により、「文化資源学（美術・工芸）」を伊藤梢講師（兼任）に担当者を変更。
- ・南明世講師（兼任）の担当科目調整により、「中国の文化と社会」を村田和弘教授（兼任）に担当者を変更。「中国語会話」を茂野瑞美講師（兼任）に担当者を変更。

【令和5年度】

- ・林洋一教授の担当科目調整により、「心理学特殊講義Ⅰ」を河野俊寛教授に担当者変更。
- ・河野俊寛教授の担当科目調整により、「心理学概論Ⅱ」を担当科目から削除。「心理学概論Ⅱ」は他の教員で担当するため、実施に特段の支障はない。「心理演習」を担当科目に追加。
- ・小島弥生教授の担当科目調整により、「心理学統計法」を谿雄祐准教授に担当者変更。
- ・仲嶺実甫子講師の担当科目調整により、「心理社会データ解析」を西浦真喜子助教に担当者変更。
- ・西浦真喜子助教の担当科目調整により、「情報処理入門」「情報処理応用」を担当科目から削除。「情報処理入門」「情報処理応用」は他の教員で担当するため、特段の支障はない。「社会学」を相原征代准教授（兼任）に担当者変更。
- ・小倉勲教授（兼任）の担当科目「北陸大学の学び」を担当から削除。「北陸大学の学び」は他の教員で担当するため、実施に特段の支障はない。
- ・桧森隆一教授（兼任）退職。「現代社会と職業」を田中康友教授（兼任）に担当者変更。「現代日本論」を福山悠介教授（兼任）に担当者変更。「職業理解とインターンシップ」は他の教員で担当するため、実施に特段の支障はない。「体験学習Ⅰ」「体験学習Ⅱ」「海外インターンシップ」「海外研修A」「海外研修B」「短期海外研修」「海外留学A」「海外留学B」「海外留学C」「海外留学D」を林洋一教授に担当者変更。
- ・田中康友教授（兼任）の担当科目調整により、「コミュニケーション技法Ⅱ」を担当科目から削除。「コミュニケーション技法Ⅱ」は他の教員で担当するため、特段の支障はない。「コミュニケーション技法Ⅰ」を担当科目に追加。
- ・村田和弘教授（兼任）の担当科目調整により、「海外語学研修B」を林洋一教授に担当者変更。
- ・板倉栄一郎教授（兼任）の担当科目調整により、「北陸大学の学び」を杉森公一教授（兼任）に担当者変更。
- ・島義博准教授（兼任）の担当科目調整により、「経済学」を並松信久教授（兼任）に担当者変更。
- ・吉田明代講師（兼任）の職名を「講師」から「准教授」に変更。担当科目調整により、「海外語学研修A」を林洋一教授に担当者変更。
- ・島田博行講師（兼任）の職名を「講師」から「准教授」に変更。
- ・川端健司准教授（兼任）の担当科目調整により、「スポーツ科学」を熊谷史佳講師（兼任）に担当者変更。
- ・David Isaacs講師（兼任）の担当科目調整により、「English CommunicationⅠ」「English CommunicationⅡ」を担当科目から削除。「English CommunicationⅠ」「English CommunicationⅡ」は他の教員で担当するため、実施に特段の支障はない。
- ・相原征代准教授（兼任）の担当科目調整により、「PBL入門」を田中康友教授（兼任）に担当者変更。
- ・廣田いずみ講師（兼任）の担当科目調整により、「観光ビジネス論」を本間千恵子講師（兼任）に担当者変更。「文化資源学（世界遺産）」を伊藤梢講師（兼任）に担当者変更。
- ・南明世講師（兼任）の担当科目「言語学入門」を大谷鉄平講師（兼任）に担当者変更。
- ・横山真美講師（兼任）の氏名を河内（横山）真美に変更。

【令和6年度】

- ・水嶋優希助教就任により、「心理学特殊講義Ⅱ」を河野俊寛教授から担当者変更、「心理学実験Ⅰ」「心理学実験Ⅱ」を小島弥生教授から担当者変更。「心理学基礎演習Ⅰ」「心理学基礎演習Ⅱ」「心理学ゼミナールⅠ」「心理学ゼミナールⅡ」「心理学ゼミナールⅢ」「心理学ゼミナールⅣ」「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」の担当者に追加。
- ・五味一成教授（兼任）退職。「経営組織論」を西山崇宏教授（兼任）に担当者変更。
- ・茂野瑞美講師（兼任）退職。「中国語会話」を渡邊彩奈講師（兼任）に担当者変更。
- ・日下恭輔助教（兼任）退職。「マーケティング論」「マーケティングリサーチ論」を石橋康伸教授（兼任）に担当者変更。
- ・後藤和史准教授の担当科目調整により、「コミュニケーション技法Ⅱ」を担当科目から削除。他の教員で担当するため支障はない。
- ・仲嶺実甫子講師の担当科目調整により、「PBL入門」「コミュニケーション技法Ⅰ」を担当科目から削除。他の教員で担当するため支障はない。
- ・西浦真喜子助教の担当科目調整により、「PBL入門」を担当科目から削除。他の教員で担当するため支障はない。
- ・福山悠介教授（兼任）の担当科目調整により、「国際関係学入門」を追加。
- ・相原雅代准教授（兼任）の担当科目調整により、「国際関係学入門」を追加。
- ・Andrew Gergely准教授（兼任）の担当科目調整により、「総合英語Ⅲ」「総合英語Ⅳ」をSMITH CHRISTOPHER DEAN講師（兼任）に担当者変更。
- ・大谷鉄平講師（兼任）の担当科目調整により、「言語学入門」を島田博行准教授（兼任）に担当者変更。
- ・宮地諒講師（兼任）の担当科目調整により、「自然科学概論」を野口雅弘准教授（兼任）に担当者変更。
- ・佃貴弘講師（兼任）の職名を「講師」から「准教授」に変更。
- ・熊谷史佳講師（兼任）の担当科目「スポーツ科学」を川端健司准教授（兼任）に担当者変更。

- (注) ・ 変更内容を簡易書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（A C教員審査）を受けてください。**A C教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ A C教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上の 必要教授数
6	3
名	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。

・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
3	2	1	1	7	0	3	2	1	2	8	0
(2)	(1)	(1)	(1)	(5)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
3	2	1	2	8	0	3	2	1	1	8	0
[0]	[0]	[0]	[1]	[1]	[0]	[0]	[0]	[0]	[1]	[1]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員のう ち、定年を延長して 採用している教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員のう ち、定年を延長して 採用する教員数
65	2	2
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段階書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{8}{7} = \boxed{114.28} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{2}{8} = \boxed{25} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当なし					
合 計 (D)					後任補充状況の集計 (E)		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし					
合 計 (F)					後任補充状況の集計 (G)		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合 計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)		
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計 (D) + (F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画 (A)}} = \frac{0}{7} = 0 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和5年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
- ・ 令和6年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合 計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
届 出 時 (令和2年)	・完成年度前に、定年 規程に定める退職年齢 を超える専任教員数の 割合が比較的高いこと から、定年規程の趣旨 を踏まえた適切な運用 に努めるとともに、教 員組織編制の将来構想 について着実に実施す ること。	【認可】 遵守事項 本学就業規則に定める定年年齢 (満65歳)を超えて採用した専任 教員については、任期满后、公 募により適切な教員任用を図る。 教員任用にあたっては、職位・年 齢等のバランス及び教育研究分野 を考慮し、計画的に進めていく。 (3) (4) (5) (6)	履行済

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。

【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5) (6)」と記載してください。

【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<国際コミュニケーション学部 心理社会学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

- a 委員会の設置状況
 - ・ 北陸大学FD・SD委員会
- b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）
 - ・ 第1回（令和6年5月7日開催）
- c 委員会の審議事項等
 - ・ 授業参観に関する事項
 - ・ 授業中間アンケートに関する事項
 - ・ 学修アンケート（授業評価アンケート）に関する事項
 - ・ FD・SD研修会に関する事項

② 実施状況

a 実施内容

(1) FD・SD研修会

【大学全体FD・SD研修会】

- ・ 経済経営学部 経済学科について
講師：鈴木 大助教授（経済経営学部）、田尻 慎太郎教授（経済経営学部、情報・IR担当学長補佐）
日時：2023年8月30日（水）10：00～11：30
- ・ 大学募集環境の変化と高校生の進路行動変化について
講師：菊池 祐城 氏（㈱リクルート まなび進学情報Division地域活性営業部長）
日時：2023年9月6日（水）11：00～12：30
- ・ 大学生の読解力・国語力の低下と大学で求められる指導
講師：伊藤 氏貴 氏（明治大学文学部教授）
日時：2024年2月8日（木）10：30～12：00
- ・ 外部資金の獲得及び寄付金募集の取組み
講師：吉田 富士江 氏（大阪大学連携ファンドレイザー、㈱福笑楽美 代表）
日時：2024年3月13日（木）13：00～14：00

【IR室主催FD・SD研修会】

- ・ アンケート作成・集計、データ分析手法の理解と実践
講師：田尻 慎太郎教授（経済経営学部、情報・IR担当学長補佐）
日時：2023年6月～2024年2月（全9回）

【学部FD・SD研修会】

◇薬学部

- ・薬学生に求められる社会人基礎力に関して
講師：羽柴 健 氏（㈱マイナビ・メディカル事業本部）
日時：2023年7月6日（木）17：15～18：55
- ・6年間の継続的な学力向上をカリキュラム2024で実現するため
ファシリテーター：武本 眞清准教授（薬学部）
日時：2024年2月13日（火）15：30～17：30

◇経済経営学部

- ・教育現場におけるChatGPTの活用について—大学はChatGPTとどう付き合う？
講師：和嶋 雄一郎 氏（名古屋大学 教育基盤連携本部／高等教育センター特任准教授）
日時：2023年7月4日（火）15：05～16：35
- ・協働による授業開発と多面的な学習評価の実現—経済経営学部におけるDPの達成
講師：杉森 公一教授（高等教育推進センター） 鈴木 大助教授（経済経営学部）
日時：2024年3月21日（木）13：00～14：30

◇国際コミュニケーション学部

- ・障害を持つ学生への合理的配慮
講師：河野 俊寛教授（国際コミュニケーション学部）
日時：2023年7月26日（水）16：20～17：50
- ・海外留学によるグローバル人材の育成～成長の可視化について考える
講師：野吾 教行 氏（学校法人河合塾 教育研究開発本部 教育研究開発部）
日時：2023年9月22日（金）15：00～17：10

◇医療保健学部

- ・医療技術学科の養成課程とその目的
—臨床工学技士・臨床検査技師養成の指針と臨地・臨床実習の考え方を中心に—
講師：油野 友二教授、清水 芳行教授（医療保健学部）
日時：2023年5月10日（水）15：30～16：30
- ・理学療法学科の養成課程とその目的
—指定規則、養成施設ガイドラインと臨床実習の考え方を中心に—
講師：大工谷 新一教授（医療保健学部）
日時：2023年7月5日（水）15：30～16：30
- ・理学療法学科DPルーブリック作成ワークショップ
講師：杉森 公一教授（北陸大学高等教育推進センター長）
日時：①2024年2月14日（水）15：45～16：15
②2024年2月22日（木）9：30～11：00

◇国際交流センター

- ・「書くこと」の授業実践
講師：大谷 鉄平講師（国際交流センター）
日時：2023年9月14日（木）10：00～12：00
- ・ピアサポート×自律学習支援の試み
講師：梅本 佳子講師（留学生別科）
日時：2023年10月25日（水）13：20～14：50
- ・翻訳コースの展開と問題点
講師：盧 冬麗講師（国際交流センター）
日時：2023年11月29日（水）13：10～14：50
- ・日中通訳講義について
講師：徐 二紅講師（国際交流センター）
日時：2024年1月17日（水）15：05～16：35
- ・実践と研究をつなぐ
講師：横田 隆志准教授（国際交流センター）
日時：2024年2月13日（火）11：00～12：30

(2) 授業参観

前期・後期に授業公開週間を定め、期間中に全教職員が1科目以上の授業を参観する。

参観者は授業参観フォームにコメントを入力し、参観者の氏名は非公開としたうえで、全科目を対象として全てのコメントを公開している。

(3) 授業中間アンケート等

学生の理解度を把握するために授業中間アンケートの実施をすすめており、実施状況及び授業改善にどのように役立てたかについて、授業の自己点検報告書で確認している。

b 実施方法

(1) FD・SD研修会

【学内FD・SD研修会】

全教職員宛に実施案内をメール配信し、参加を促している。

各研修会では、事前に研修の「一般目標」「到達目標」を示し、参加者にはアンケートを実施し、目標達成度の自己評価を含めた参加報告を行っている。

【学外FD研修会】

北陸大学FD・SD研修会において、参加を推奨する研修会については、全教職員宛に案内もしくは委員を通じて、学部より参加者を募り、研修に係る経費補助を行っている。

(2) 授業参観

全教職員宛に、授業参観期間及び授業公開対象科目をメール配信にて通知している。

(3) 授業中間アンケート等

小テスト、ミニツツペーパー、アンケート等、科目担当者に実施方法は任せており、実施状況と授業改善にどのように役立てたかを授業の自己点検報告書で確認している。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

年度当初に北陸大学FD・SD委員会にて大学全体及び学部FD・SD研修会の年間スケジュールを計画している。業務に支障がある場合を除き、原則、全教職員が研修会に参加することとなっており、欠席者に対しては、録画視聴、資料配布等を行っている。また、他学部主催のFD研修会にも参加が可能となっている。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

今後の北陸大学FD・SD委員会で検証

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前期（7月）、後期（1月）に全ての科目において、Web上で学修アンケート（授業評価アンケート）を実施予定。

b 教員や学生への公開状況、方法等

集計結果は、教員及び学生に対してWeb上で公開予定である。学修アンケート（授業評価アンケート）の結果を受け、科目担当教員は、授業の自己点検報告書を作成し、報告書については学内公開予定である。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

該当なし

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

該当なし

c 委員会の審議事項等

該当なし

d その他

該当なし

② 審議状況

a 審議した内容

該当なし

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

該当なし

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的に基づき、計画を履行している。開設4年目（令和6年度）は、募集人員60人に対し入学者が40人となり、収容定員充足率は0.90倍となったことから、あらためて本学科の教育活動を高校生及び保護者、高校教諭にたいして認知度を上げ入学者確保に努める。具体的には、大学案内やホームページ、SNS、進学ガイダンス等の手段・機会を積極的に活用し、本学科の教育内容を高校生等に十分伝え、学習意欲の高い入学生を迎えることで、教育・研究活動がさらに充実するよう務める。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和6年10月 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

・令和3年に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受審し、適合の認定を受けた。
次回、令和10年に受審予定。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [☒ 有 ・ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。